

用語解説

あ行

あ〜こ

さ〜と

は〜ほ

ま〜ん

IoT	インターネット・オブ・シングス（Internet of Things）の略で様々なモノがインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組みです。
ICT	Information and Communication Technology（情報通信技術）の略です。
イノベーション	新技術の発明や新規のアイデア等から、新しい価値を創造し、社会的変化をもたらす自発的な人・組織・社会での幅広い変革のことです。
ウェアラブルカメラ	腕や頭部など、身体に装着して利用できるカメラのことです。
AI	Artificial Intelligence（人工知能）の略で、テキスト、音声、画像、動画といった規則性のない多様なデータを複合的に分析した上で結果を導くことや、問い合わせの自動応答などの業務での活用が期待されています。

あ〜こ

さ〜と

は〜ほ

ま〜ん

SNS	Social Networking Service の略で、登録された利用者同士が交流できるウェブサイトの会員制サービスのことです。
Lアラート	災害発生時に、地方公共団体等が、放送局・アプリ事業者等の多様なメディアを通じて地域住民等に対して必要な情報を迅速かつ効率的に伝達する共通基盤です。
L GWAN	地方公共団体の組織内ネットワークを相互に接続し、地方公共団体間のコミュニケーションの円滑化、情報の共有による情報の高度利用を図ることを目的とする、高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワークです。
オープンデータ	政府や自治体等が保有する公共データが、国民や企業等に利活用されやすいように機械判読に適した形で、二次利用可能なルールの下で公開されること、又は、そのように公開されたデータのことをいいます。
カーボンニュートラル	温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることです。
キャッシュレス決済	現金を使用せずにクレジットカード、電子マネー、スマートフォン、インターネットなどを使って、デジタル化されたデータでお金を支払うことです。

か行

さ行	
GIS	Geographic Information Systemの略であり、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示することを可能とする技術のことです。
CIO	Chief Information Officer の略です。日本語では「最高情報責任者」「情報システム担当役員」「情報戦略統括役員」などと訳されます。企業や行政機関等といった組織において情報化戦略を立案、実行する責任者のことです。
シビックテック	市民（シビック）とテクノロジー（テック）を組み合わせた造語です。市民がテクノロジーを活用して地域の課題などを解決することです。
スマートグリッド	発電設備から末端の機器までを通信網で接続、電力流と情報流を統合的に管理することにより自動的な電力需給調整を可能とし、電力の需給バランスを最適化する仕組みのことです。
スマート農業・林業・水産業	ロボット技術やICT等を活用して超省力・高品質生産を実現する農業・林業・水産業のことです。
生成AI	文章、画像、プログラム等を生成できるAIモデルにもとづくAIの総称です。

た行	
DFFT	Data Free Flow with Trustの略で、日本語では、信頼性のある自由なデータ流通と訳します。「プライバシーやセキュリティ、知的財産権に関する信頼を確保しながら、ビジネスや社会課題の解決に有益なデータが国境を意識することなく自由に行き来する、国際的に自由なデータ流通の促進を目指す」というコンセプトです。
デザイン思考	単に機能をそのまま利用者に提供するのではなく、利用者が必要とする形でサービスを提供し、提供者もサービス利用者として捉え、使いやすい仕組みにすることで、利用者のメリットを最大化しようとする考え方です。
デジタルアーカイブ	図書・出版物、公文書、美術品・博物館資料・歴史資料等公共的な知的財産をデジタル化し、インターネット上で電子情報として共有・利用できる仕組みのことです。
テレワーク	ICT（情報通信技術）を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のことで、Tele（離れて）とWork（仕事）を組み合わせた造語です。
ドローン	無人で遠隔操作や自動制御によって飛行できる航空機のことです。

は行	
B P R	ビジネスプロセス・リエンジニアリング（Business Process Re-engineering）の略であり、組織活動の目標達成に向けて、従来の改善の枠にとらわれずに、業務プロセスや業務の役割分担等を抜本的に見直すこと、またその手法のことです。
ビッグデータ	インターネットや現実空間から採取される大量のデータのことです。これらのデータを解析することにより、新たな価値の創出や知見の発見が可能となります。
B I M / C I M	調査・計画・設計段階から施工、維持管理の建設生産・管理システムの各段階において、3次元モデルを連携・発展させ、あわせて事業全体に携わる関係者間で情報を共有することで、生産性向上とともに品質確保・向上を目的とするものです。
5G	第5世代移動通信システムのことです。携帯電話などの通信に用いられ、従来の規格（4G）よりも超高速、超低遅延、多数同時接続を可能とする通信規格です。
フロントヤード改革	マイナンバーカードを活用した住民との接点の多様化・充実化、窓口業務の改善などを通じて、住民の利便性向上と業務効率化を図る取組です。

あ〜こ

さ〜と

は〜ほ

ま〜ん

VR	Virtual Reality の略です。コンピュータ上に仮想的な世界を作り出し、あたかも現実にそこにいるかの様な体験をさせる技術です。
ま行	
マイナンバーカード	本人の申請により交付され、個人番号を証明する書類や本人確認の際の公的な本人確認書類として利用でき、また、様々な行政サービスを受けることができるようになるICカードです。
モビリティサービス	人やモノの移動、移動手段に関するサービスのことです。
ら行	
リカレント教育	学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と学習を繰り返すことです。
レセプトデータ	保険診療等を行った医療機関が保険者に診療報酬等を請求するための診療内容や個々の診療行為等に要した額に関する情報のことです。
わ行	
ワーケーション	Work（仕事）とVacation（休暇）を組み合わせた造語です。テレワーク等を活用し、リゾート地や温泉地、国立公園等、普段の職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事を行うことです。